

I 指宿市 新西方むらづくり推進協議会

1 地区概要

新西方地区は、指宿市の北部に位置し、北西部に標高 232.5 m の高江山、北部から北東部にかけて畑かん整備された農地に囲まれた丘陵地域である。また近隣には篤姫ゆかりの今和泉島津家の史跡や、イッシーで有名な池田湖がある。

当地区は、細田西、細田東前、細田東後、永吉、渡瀬、鳥山の 6 集落で構成され、農家率は 22% ながら、営農意欲が旺盛な農家が多く、指宿市全体でも屈指の農業が盛んな地区となっている。

農業面は畑作が中心で、温暖な気候と畑かん整備された優良農地を活かし、指宿市の特産品として有名なオクラ、ソラマメなど収益性の高い品目が栽培されている。

さらに、生活研究グループにより設立された指宿農産加工組合がオクラを加工した「オクラ漬け」を生産し、全国販売を行うなど、6 次産業化の礎を築いている。

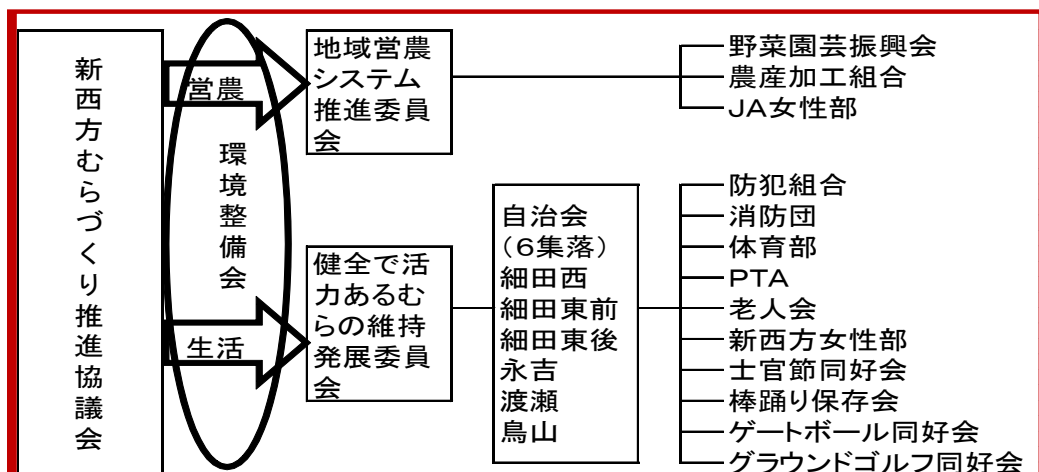
2 むらづくりの内容及び成果

(1) 農村集落の再生

高齢化の進行や参加率の低下などにより、伝統芸能の保存や農産加工組合の活動内容の縮小など課題が増えてきた状況にあった。

そこで、平成 22 年度から共生・協働のむらづくり支援事業に取り組むに当たり、現在の課題掘り起こしのための地区内アンケートを実施し、その結果をもとに地域の活性化フロー図を作成した。そして、少子高齢化の進行の中で、農業を守るシステムを構築し、地域ぐるみでむらづくりに取り組むこととして活動を行ってきている。

【地区の組織体制図】



(2) 新たなむらづくりの形成

ア 新たな農産物加工品づくり

地区で生産されているオクラ等地元農産物や新たに地区で植栽を始めたグアバを活用し、Iターン者のアイデアも取り入れながら、6次産業化を目指している。

イ 環境保全・美化運動

地区の湊川の水質浄化のため、子ども達も参加した環境保全活動や、芝桜植栽による景観改善等の活動を行っている。



湊川へのEM団子投入

ウ 史跡探訪ウォーク

地区の過去の実績・遺産を見つめ直すため平成22年度から史跡探訪ウォークを実施している。

エ 三世代間交流活動

グラウンドゴルフ大会を実施し、若年層から高齢者層まで普段一緒に活動しない異世代間の交流を深めている。



史跡探訪ウォーク

(3) むらづくりの維持・発展

地区の伝統芸能を維持するため、保存会の活動を強化したところである。また、地区内の美化活動には殆どの住民が参加するようになり、互いに協力し合うことで作業負担が軽減され、地区内の景観も改善された。

毎年開催している区民祭りについて、平成19年度からは、むらづくり活動の成果発表の場としても活用しており、地域の若者ら（Iターン者、PTA、若い農業者等の代表者）や各部会長等をパネラーとしてパネルディカッションを実施し、むらづくり推進協議会会長が基調講演を行うなど、地域ぐるみのむらづくりを行っている。

3 今後のむらづくりの方向性

新西方地区のむらづくりの目標である「若者が定住できる地域づくり」、「産業として自立する農業の構築」の達成を目指して活動していくこととしている。

主な活動として、地区内の担い手育成のほか、就農希望者の受入・指導や、就農希望者への空家等の提供による定住促進、そしてグアバを使った商品の開発・販売による6次産業化の推進などを行う計画である。

また、地区の人材や資源を活用し、生活環境の整備にも取り組む意向である。